

災害等準備金積立金取崩し金助成

(1) 安心・安全まちづくり支援事業

(単位：円)

番号	団体名	助成事業	配布数 (個)	助成額	備考
1	鳥取県小学校長会	令和4年度新入学児童への防犯ブーザーの配布	4,732	1,074,000	株式会社FM山陰と協働事業の実施
2	鳥取県特別支援学校長会		69		
計			4,801	1,074,000	

(2) 災害ボランティア活動資材整備事業

(単位：円)

番号	団体名	助成内容	助成額	備考
1	社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会	令和3年度に全国に先駆け設置された「鳥取県災害福祉支援センター」（設置者：鳥取県、運営：県社協へ委託）に対し、災害ボランティア活動などに必要な資機材、活動物資等の整備に対する助成	880,000	

【その他の募金】

共同募金以外の寄付による助成

(1)企業からの寄付金受入及び助成

(単位：円)

番号	寄付者	寄付金額	助成先	助成額
1	アサヒ飲料（株）	100,000	岩美こども食堂	50,000
			あがりみちこ食堂	50,000
	計	100,000		100,000
2	三菱電機（株） SOCIO-ROOTS基金	205,650	(社福) みその児童福祉会	85,000
			(社福) 因伯子供学園	120,650
	計	205,650		205,650
合計		305,650	4件	305,650

(2)中央共同募金会からの寄付金受入及び助成

別紙のとおり

令和3年度 赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン

(いのちをつなぐ支援活動を応援! ~支える人を支えよう~)

助成団体一覧表

(単位:円)

番号	団体等		助成内容		
	団体名	代表者	活動名称	活動概要	助成額
1	とっとり子どもの居場所ネットワーク 〔鳥取市永楽温泉町〕	理事長 株本 敏夫	食材の提供・配送のネットワークづくり 〔フードバンク事業〕	<p>寄付食材を保管、管理するため新たに冷凍庫（1台）・冷蔵庫（1台）を設置するため新たに必要となる施設の電気容量の増設工事（100V⇒150V）を実施する。</p> <p>冷凍・冷蔵食材（寄付）の受入・保管を行い、ネットワーク会員である県内のこども食堂等への分配を行う。</p> <p>保管設備のないこども食堂に対しては開催日までの寄付食材の一時保管を行うことにより、各こども食堂における食材調達や運営等のサポートを行う。</p> <p>今回の整備により、これまで冷凍・冷蔵の寄付食材は、支援員一人が全県を保冷バッグで即日に配達できる分量しか受け入れられなかつたが、寄付者の意向に沿って受領し、一時保管することが可能となる。</p> <p>また、全ての食堂が肉・魚・卵などの主食となる冷凍・冷蔵食材を活用することによる、各食堂の食事内容の充実や運営継続の一助となる。</p> <p>・電気容量増設工事（100V⇒150V）</p>	300,000
2	特定非営利活動法人 岩美かたつむり工房 〔岩美郡岩美町〕	理事長 濱崎 智熙	リモートWEB研修促進研修事業 〔電子機器整備事業〕	<p>就労継続支援B型事業所を運営し、利用者は精神障がい、知的障がいのある方で現在契約者12名（2019年度、利用者は延べ2,300人）が請負作業、農業・水産関係の施設外での作業、藍染・草木染製品の製造販売を行うことにより、利用者の方に工賃を支払っている。</p> <p>提供する障害福祉サービスのさらなる向上のためには継続した研修が欠かせないが、現下のコロナ禍の影響により殆どがリモート（WEB）開催となっている。</p> <p>このため、リモート研修に対応する機器を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートパソコン(カメラ付き) 1台 ・ヘッドセット 2個 ・スピーカーフォン 1台 	200,000
3	子どもの応援隊「おいで おいで」 〔境港市幸神町〕	代表 足立 恵子	子どもの応援隊「おいで おいで」 〔こども食堂〕	<p>幸神町内の子ども達を対象に、月に一度（第2又は第3土曜日）、健全育成、子育て世代の応援・交流を目的に、食事の提供、学習支援、昔あそびや交流イベントを実施することから、により、居場所づくりに取り組んでいる。</p> <p>コロナ禍に対応するため、非接触型体温計、空気清浄機などを整備し衛生管理も徹底して対応している。</p> <p>このため、ボランティアによる活動であるため運営資金が乏しいことから、月に一度行っている活動に対し、食材費や昔遊びのための消耗品の購入費を支援していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材費（11回分） ・電子レンジ 1台 ・色画用紙、折り紙、風船 など 	150,000
4	特定非営利活動法人あいぼりい 〔米子市昭和町〕	理事長 杉原 正司	衛生対策事業 〔感染予防対策事業〕	<p>グループホーム「あいぼりい」では、一般住宅の浴室を ①風呂場 ②脱衣所 ③手洗い・洗面所 ④洗濯室 そして⑥汚物処理室として利用している。</p> <p>コロナ禍にあって常時「3密」が避けられず、さらに換気の悪い密閉空間となっている。</p> <p>このため新たに軒下を改造して、洗濯と汚物処理を衛生的な環境の下で行えるようテラスを、新たに設置することとしており、汚物処理槽、洗濯機、換気装置などの衛生設備の購入に対し支援していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚物処理槽 1台 ・洗濯機 1台 ・自動給水栓手洗い器 1台 ・換気装置 1台 	300,000

令和3年度 赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン

(いのちをつなぐ支援活動を応援！～支える人を支えよう～)

助成団体一覧表

(単位：円)

番号	団体等		助成内容		
	団体名	代表者	活動名称	活動概要	助成額
5	特定非営利活動法人 鳥取県障害者就労事業振興センター 〔米子市東福原〕	会長 廣田 和幸	WEB研修促進事業 〔電子機器整備事業〕	<p>障がい者の就労を支援するため、県内企業と作業所との調整等を行うとともに、作業所職員の支援スキル向上を目的とした研修を継続して行っている。</p> <p>現下のコロナ禍にあっては、集合しての研修会の開催は不可能であることから、リモートによる開催とする必要がある。</p> <p>このため、各作業所に対しインターネットを介したリモート研修が実施できるよう、必要な機器の整備に対して支援していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン 一式 ・WEBカメラ 1台 ・スピーカーフォン1台 	170,000
6	NPO法人リカバリーポイント 鳥取ダルク 〔岩美郡岩美町〕	理事長 千坂 雅浩	コロナ禍で孤立した依存症者と居場所（回復者）を繋ぐ、非対面型・相談支援への転換事業 〔リモート会議・研修用機器整備〕	<p>鳥取ダルクは、薬物やアルコール依存症当事者や回復者、支援者等が運営する回復のための施設である。</p> <p>依存症という病気の特性から、相談支援によるアセスメント、回復者との出会いや、継続した行政等との会議などが欠かせないが、コロナ禍によりその機会が失われている。</p> <p>そのため、リモート機器を整備しオンラインによる相談支援・会議等を可能とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デスクトップ型パソコン 1台 ・WEBカメラ 1台 ・拡張マイク 1台 ・スピーカーフォン 1台 	280,000
7	下私都地区まちづくり委員会 〔八頭郡八頭町〕	委員長 岡森 裕	地域の小学生を対象とした 夏休み勉強会 〔感染予防対策事業〕	<p>地域の家庭は、三世代家族であっても夫婦は共働き、祖父母は農業に従事しており、夏休み等の長期休暇の日中は子ども達だけで過ごす家庭が多い。</p> <p>例年、この期間中に子ども達を対象に「子ども勉強会」を開催している。</p> <p>しかし現在はコロナ禍にあり、現在の室内環境では感染対策が不十分であることから、安心安全な学習・遊びの場の確保に苦慮している。</p> <p>このため、新たに空気清浄機やアクリル場面を設置することにより、感染予防対策を徹底して開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気清浄機 1台 ・アクリル板 5台 	100,000
8	東郡家地区まちづくり委員会 〔八頭郡八頭町〕	委員長 山根 張太郎	「ふれあいの里たから」まちづくりカフェ事業 〔感染予防対策事業〕	<p>高齢者を主体に、地域の仲間づくり、介護予防、孤立・引きこもり対策を目的に、毎週1回、「ふれあいの里たから」を会場に「まちづくりカフェ事業」を実施してきた。</p> <p>現下のコロナ禍にあって高齢者の外出機会が減り、孤立化・フレイルのリスクがこれまで以上に高まっており、この取り組みの重要性が増していると考える。</p> <p>このため、入り口での効率的な検温と参加者の間のパーティション設置など、感染予防対策を万全に取ることにより、安心安全な集いの場、介護予防の場を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーモカメラ体温計 1台 ・パーティション 2台 	100,000
9	隼地区まちづくり委員会 〔八頭郡八頭町〕	委員長 西村 恵美子	「すまいる隼」まちづくり カフェ事業 〔感染予防対策事業〕	<p>高齢者を主体に、地域の仲間づくり、介護予防、孤立・引きこもり対策を目的に、毎週1回、「隼 Lab.」を会場として「すまいる隼 まちづくりカフェ事業」を実施してきた。</p> <p>現下のコロナ禍にあって高齢者の外出機会が減り、孤立化・フレイルのリスクがこれまで以上に高まっており、この取り組みの重要性が増していると考える。</p> <p>このため、空気清浄機による効率的・効果的な換気、体操・リクリエーション指導者と参加者の間のパーティション設置など、感染予防対策を万全に取ることにより、安心安全な集いの場、介護予防の場を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気清浄機 3台 ・パーティション 1台 	100,000

令和3年度 赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン

(いのちをつなぐ支援活動を応援！～支える人を支えよう～)

助成団体一覧表

(単位：円)

番号	団体等		助成内容		
	団体名	代表者	活動名称	活動概要	助成額
10	船岡地区まちづくり委員会 〔八頭郡八頭町〕	委員長 池本 秀行	船岡地区の高齢者の介護予防事業 【感染予防対策事業】	<p>地域の元気な高齢者や軽度の介護要支援者の介護予防のため、「いきいき百歳体操」に取り組んでおり、体操の後は演芸鑑賞や健康講座、防犯教室やレクリエーション等も行うことにより、仲間づくりや生きがいづくり、閉じこもりがちな方の居場所づくりに取り組んでいる。</p> <p>現下のコロナ禍にあって高齢者の外出機会が減り、孤立化・フレイルのリスクがこれまで以上に高まっており、この取り組みの重要性が増していると考える。</p> <p>このため、自動検温消毒器を設置し、一層の感染予防対策を講じることにより、安心安全な集いの場、介護予防の場を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動検温消毒器 1台 	100,000
11	NPO法人スペル 〔鳥取市瓦町〕	理事長 田原 美恵子	オンラインWeb研修等参加促進と感染対策用エアコン設置事業 【感染予防対策・リモート研修用機器整備】	<p>発達障害者を主とした就労継続支援B型事業所「明日葉」を運営している。個室に設置しているエアコンが経年劣化のため故障し修理不能の状態である。これから迎える夏季における利用者や職員の熱中症対策や利用者のパーソナルスペースを確保するためには、至急買い替える必要がある。</p> <p>また現下のコロナ禍にあって、職員の資質向上のための研修会がオンラインによる開催となっている。</p> <p>しかし、Web対応の機器を有していないことから、これについても整備を急ぎたいと考えている。</p> <p>については、ボランティアによる活動であるため運営資金が乏しいことから、これらの機器整備に対し助成していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアコン〔空気清浄機能付〕 1台 ・ノートパソコン〔カメラ付〕 1台 	290,000
12	わいわい広場とっとり 〔産後ケア やわらかい風〕 〔鳥取市相生町〕	代表 河本 千香子	コロナ禍でも心からだをつなぐ地域の居場所づくりの事業 【感染予防対策事業】	<p>こども食堂の活動の場が、「産後ケア やわらかい風」という助産所であり、赤ちゃん連れの母親を中心近隣の高齢者も多く利用している。</p> <p>コロナ禍のため入室人数を制限したり、テーブルの配置の工夫、テイクアウト弁当など、感染防止に努めつつ食堂を継続して開催している。</p> <p>しかし利用希望者が増加する一方、感染拡大防止のため利用を断らざるを得ない人数も増加し課題となっている。</p> <p>このため裏庭の空きスペースを有効活用し、屋根付きの簡単な東屋を作り、飲食が可能なスペースの拡大を図りたい。</p> <p>なお、一部電気工事を除き、ボランティアによる作業を予定しており、東屋設置に必要な材料費等に助成していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外スペースの設置 	300,000
13	一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会 〔鳥取市東町〕	会長 大谷 喜博	障がい者のスポーツ団体の育成事業 【感染予防対策事業】	<p>加盟する20を超える団体における新型コロナ感染防止のため、マスク・消毒液・非接触型体温計を配布し、障がい者スポーツ団体による安心安全なスポーツ活動をサポートする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク 40ケース ・消毒液 40本 ・非接触型体温計 24台 ・マウスシールド 100枚 	220,000
14	夢現の風 〔東伯郡琴浦町〕	会長 住田 幸保	コロナ禍のなか地域の高齢者が安心して暮らし続けられる居場所づくり事業 【感染予防対策事業】	<p>「地域交流ステーション きないや」を拠点に、悩みごとの相談、趣味の創作づくり、フレイル予防教室などを開催し、地域の居場所づくりに取り組んでいる。</p> <p>現下のコロナ禍にあっても、安心安全に地域住民に参加いただけよう、さらに一層の感染予防対策のため衛生機器等の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気清浄機 1台 ・サーキュレーター 1台 	90,000
合計					2,700,000

令和3年度 赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン

(いのちをつなぐ支援活動を応援! ~支える人を支えよう~)

助成団体一覧表

(単位:円)

番号	団体等		助成内容		
	団体名	代表者	活動名称	活動概要	助成額
1	特定非営利活動法人おりもんや (米子市加茂町1-17)	理事長 小前 澄子	感染症対策のための機器整備事業 【感染予防対策】	<p>障がい者が利用する就労継続支援B型事業所において、織物の製造・販売を行っている。</p> <p>障がい特性により、通常の体温計では正確に計測できないことがあることから、据付型の非接触型体温計を整備する。</p> <p>また、作業内容が「織物」であるため微細な粉塵が発生することから、空気清浄機を整備し作業環境の改善を図るとともに、新型コロナ感染症の予防にも資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非接触型体温計 1台 ・手指消毒器 1台 ・空気清浄機 1台 	300,000
2	おやこ食堂「おかえり」みんなの食堂「ただいま」 (米子市米原2丁目3-15 第2青葉マンション1002号)	代 表 齊藤 恵子	乳幼児を育てる子ども食堂参加者のための養育支援事業 【コロナ禍における養育支援】	<p>毎週土曜日に120食の弁当配布することも食堂の開催に併せ、乳幼児の育児サポートや養育相談を行っている。</p> <p>特に、生後5か月の双子を育てる家庭の支援を4月から開始し、現在は毎週月曜日から木曜日の16時から19時までの間、2人体制で家庭に出向き育児サポート（寝かしつけ等）を行っている。</p> <p>支援はボランティアに頼っているが、ボランティアにとっても平日の多忙な時間帯における活動は負担となっており、また完全な無償ボランティアを強いることは適当ではなく、今後も支援を継続させるためにも最低限の活動費を支給することとしたい。</p> <p>活動費支援（150日相当）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16時から17時 600円／時 ・17時から19時 800円／時 ・16時から19時 2,200円／日 	300,000
3	特定非営利活動法人大山綿の花 (米子市萩町2丁目44)	理事長 荒田 楠	地域の子ども達のための季節ごとの自然遊び体験事業 【コロナ禍における自然体験事業】	<p>コロナ禍で外出が制限されている子ども達、家庭環境や経済的な理由から自然と触れ合う機会の少ない子ども達に、自然遊びや地域の大人と触れ合う楽しさを感じてもらえるような機会を提供する。</p> <p>○主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏（8月）：水遊び・魚釣り・カニ取り・会拾い 秋（11月）：栗拾い・紅葉狩り・さつまい掘り 冬（2月）：雪山歩き・竹ぞり作り・そり遊び <p>○活動経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険料、材料費、食材費、講師謝礼、広報費 	100,000
4	特定非営利活動法人 このゆびとーまれ (鳥取市千代水一丁目37)	理事長 藤原 美江子	日中、放課後に通ってくる地域重度障がい児者の支援 地域重度障がい児者の住まいの支援 【感染予防対策】	<p>重度の障がい児者が過ごす放課後等デイサービス事業所、障がい福祉サービス事業所（ケアホーム等）を運営している。</p> <p>事業所利用者の多くは医療行為（気管切開、経管栄養、酸素吸入、導尿等）が必要な者である。</p> <p>ハイリスクな利用者を新型コロナウイルス感染症から守るため、施設内への外気の取り入れ（換気の促進）を容易にするため、玄関等への網戸の設置等を行う。備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関及び勝手口への網戸 2か所 ・バリスオキシメーター 1台 （二酸化炭素濃度測定器） 	250,000
5	チャイルドラインうさぎのみみ (倉吉市東仲町2616-2 てぬぐい工房らっぷ内)	代 表 楠本 知恵美	自殺予防月間の11月に24時間1週間子どもたちの電話を受ける事業 【コロナ禍における子どもの自殺予防対策】	<p>18歳までの子どもたちの「心の居場所」として、子どもの声を聴く「チャイルドライン」を開設している。</p> <p>昨年の厚労省のデータによれば、中高生の自殺者が2倍になったとの報告もある。</p> <p>現下のコロナ禍にあって、一人でも自殺者を減らせるよう中四国地方のチャイルドラインが連携し、11月の自殺予防月間の一週間にわたり24時間電話を受ける活動を行うこととしている。</p> <p>このためこの活動を県内のすべての中高校生に知らせるため、中四国で統一したカードを作製し配布する。</p> <p>○広報用カード作製・配布 印刷費・送料・交通費</p>	100,000
合 計				【緊急助成金支出（過年度助成残）】	1,050,000